

# 株式会社ときわ



case 4

## ライフステージに合った 多様な働き方でキャリアアップ！

### 事業所データ

所在地：徳島市下助任町 3 丁目 20

電話番号：088-622-0011

設立：1966 年

従業員数：136 名（男性 34 名・女性 102 名）

事業内容：ブライダル関連衣装のレンタル並びに関連商品の販売、旅行、保険、式場紹介、海外挙式プロデュース、結婚式場、レストラン、婚活事業、宿泊事業、ティカウト、ギフト



徳島式場部門統括 執行役員 藤並 亜紀子さん（勤続 20 年）



正社員として入社。第 1 子出産時に産休・育休取得。復帰後、準社員制度を利用。第 2 子出産時の産休・育休取得後、正社員として職場復帰。4 年後に管理職（チーフ）に昇進後、部署異動を経て、2022 年執行役員就任。

### これまでの歴史・体験談など

ジョブローテーション制度を利用し、ライフステージの変化に合わせた業務や店舗を希望することが可能でした。だからこそ、家庭と両立しながら職場で自分の目指すキャリアアップについてイメージしやすく、「やりたい！」を自分から発言し、責任感を持って仕事に取り組むことができました。

### 仕事と家庭を両立するための周囲からの支援

夫と私で週単位でのスケジュールを細かく話すことを徹底しています。

自分たちの仕事の予定などを管理し、どちらかだけが負担にならず、できるだけ均等になるように子どもたちの送迎や食事の準備などの家事分担を話し合いで決めています。

『先週、頑張ってくれたから今週私がメインで動くね！』など、職場でのスタッフとの声掛けと同じようにお互いの頑張りを認め合い、持ちつ持たれつと考えています。

また、基本的に夫婦で計画をして日々を過ごしているので、突然の子供の体調不良などの時には、両家の両親からも協力してもらいやすい関係性をつくることにも繋がり、好循環にもなっていると感じます。

### 次世代の方々へのメッセージ

当社の社は「自由・自律・自走」が表すように、自分の人生は自分で決めなければなりません。社内や社会で働く人を応援してくれる制度を利用し、自分なりの働き方を見つけていってください。



藤並とスタッフ談笑

部下からの声 // 営業という接客の最前線で活躍し、かつ執行役員としての責務も果たしている姿を常に見ているので尊敬しています。また、仕事だけでなく、プライベートな時間や家庭も大切にされているので、私だけでなく、他のスタッフから見ても働く女性のお手本となる存在です。身近にロールモデルとなる上司がいることで自分のライフプランやキャリアアップについて前向きに考えられるようになりました。

### 代表者からの声 //

株式会社ときわ

代表取締役社長

高畠 富士子さん



マーケティング&セールス 営業部門チーフ 岩田 結里さん

女性活躍を推進するにあたって、あなた自身が感じた課題や苦労は？

サービス業のため基本、土日祝が出勤となっていましたが、子育て中のママ社員が多い部署は土日に行われる学校・保育園のイベント参加のため休みを取りしたり、夜遅くの勤務が難しいなど、そのフォローが他の社員に回ってくるケースも多く、サービス業ならではの課題を感じます。会社全体で土日の休みが取れるような仕組みづくりやシフトが必要ですが、自部署だけでは解決できないこともありますのでジョブローテーションなどの経験を生かした人員配置も含めて検討していかたいと思います。

### 事業所からの声 //

#### 女性従業員が活躍する取り組みはありますか？

- ・産休前に専任担当者との面談実施（妊娠中に考慮してほしいこと、業務の引継状況、復帰後の勤務形態、カラーズ入園枠確保等）
- ・事業所内保育所設置（カラーズインターナショナル保育園）
- ・育休復帰前に専任担当者と面談、必要に応じて社長面談実施
- ・子の看護休暇：法定を上回る小学校 3 年生まで取得可能
- ・入学式・卒業式のための休暇制度
- ・入社後のジョブローテーション実施

#### 女性活躍のための取り組みにより、事業所で起きた変化を教えてください。

育児支援の制度を整えることで育休からの復帰率も 100% となり、カラーズの入園枠を出産前に予約していることで育休中も安心して復帰準備を進められるようになりました。また、ジョブローテーションで複数の職種を経験することで、家庭の事情やライフイベントで部署の異動や雇用形態の変更を希望した場合も業務が変わることへの抵抗も薄

企業として多様な働き方を可能にするための外部支援は必要ですが、社員一人ひとりのライフステージに合わせて共に考え、カスタマイズした働き方を可能にすることがこれからの時代、さらに重要になってきます。また、会社と社員だけの関係ではなく、社員＆家族が交流できるイベントを実施し、社員の家族にも企業風土を感じてもらい、家族がこの会社で働くことを応援し、認めてくれるようなコミュニティづくりにも力を入れています。

く、離職という選択肢を排除でき、キャリア形成に繋がっています。女性が育休を取得することで男性育休取得への理解も深まり、社員全体でサポートできる体制が作りやすく男女問わず取得しやすい風土が醸成されています。

#### 今後、より女性が活躍するためのアイデアはありますか？

- ・子供の病気などで急なお迎え、休みが必要な場合、所属部門を越えたサポート体制の構築
- ・病児保育の受け入れ可能な医療機関と企業の連携
- ・ライフイベントに応じて働き方を自由に変えられるような制度



ときわ 要祭り